

事務事業評価シート

平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		40340	第二市民会館活動費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育施設班
①		12	(第二市民会館活動費)(講座)	一般	10	4	3		☒	主な事業
基本施策		12	生涯学習の充実	旭市民会館の設置及び管理に関する条例、条例施行規則					☒	国土強靱化地域計画
施策の展開		23	生涯学習機会の充実	戦略事業 122	生涯学習施設活動費				☒	新市建設計画
施策の展開				戦略事業 123	生涯学習講座の開催				☐	定住自立圏構想
									☐	主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 55 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与するため、各種主催講座事業の実施及び市民の生涯学習活動の場として提供する。また、当施設の維持管理(旭市保健センター含む)・運営を行う。 ・使用料(時間単価) 第1講習室 500円、第2講習室 300円、第3講習室 300円、料理実習室 400円、軽運動場 600円		・利用しやすい施設になって良かったと意見あり。(施設利用対象者が成人女性から全住民対象となったため) ・軽運動場の床がきれいになって良かったと意見あり。(平成25年度に耐震補強改修工事で軽運動場の床全面補修を実施)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化			
昭和55年に、旭市働く婦人の家として、女性労働者や労働者家庭の主婦の生活向上の増進を図ることを目的として、整備された施設であったが、働く婦人の家として一定の役割を果たしたものと考え、さらに広く全地域住民に利用してもらえる施設として社会教育施設に転用することとし、平成25年4月に教育委員会旭第二市民会館となる。		転用前の働く婦人の家は、成人女性を対象にした施設であったが、現在は、第二市民会館として全住民が対象となる社会教育施設になった。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.報償金	1,237	講座講師謝金	千円	1,356	1,296	1,149	1,237	1,330
2.保険料	118	公民館総合保障制度加入	千円	118	118	118	118	118
3.消耗品	75	講座用消耗品	千円	74	73	73	75	75
4.手数料	26	ピアノ調律、グリーンング代	千円	26	26	26	26	28
5.修繕料	20	ミシン点検修理	千円	20	20	20	20	20
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0		千円	1,594	1,533	1,386	1,476	1,571
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
			5.一般財源	千円	1,594	1,533	1,386	1,476

前年度増減理由	報償金(主催講座事業数の増)の増
---------	------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

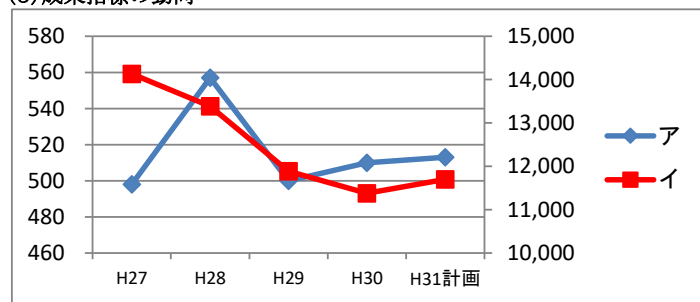
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
30年度実績(30年度に行った主な活動)		ア 主催講座事業数		講座	26	29	27	28	28
・主催講座事業(28講座)		イ 自主事業数(自主グループ・サークル)		団体	22	22	22	20	21
・貸館業務(サークル・団体等 9時～21時)									
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象		ア 主催講座事業受講者数		人	498	557	500	510	513
意図		イ 延べ利用者数		人	14,133	13,382	11,888	11,379	11,700
対象									
意図									

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
評価結果		①	
		②	
		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	(7)
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況												☐ 完了		☐ 順調		☒ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難				
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																							
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度									
			成果指標イ			数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下		27年度	28年度	29年度	30年度	31計画									
	【コメント】 (低下の場合、その理由)												・利用者団体(サークル等)数の減											
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()													
			元年度中	主催講座事業				随時	・主催講座事業の充実及び自主サークル等への活動・交流の場の提供															